

# バッタとカマキリ どっちの命が大切？

中学校1年生

## I アクティビティーについて

### ねらい

食物連鎖に関わるロールプレイを通して、生きとし生けるものの生命の大切さ、自分自身も多くの生命によって生かされている事実などを感受させ、認識させることを通して、生命を尊重しようとする態度を育成する。

### ◆◆◆視点◆◆◆

- ◎生命尊重
- コミュニケーション能力

### 設定の理由

この発達段階の生徒の中には、自他の生命を尊重すべきことを頭では理解していても、普段の生活の中では、ときに「自分さえよければ、他者はどうなってもかまわない」、「自分の命は自分のものであるからどう扱ってもよい」といわんばかりの言動をとる者も見受けられる。

そこで、食物連鎖について考えるロールプレイを実施することを通して、自らの生命の大切さを自覚するとともに、他者の生命をも尊重し、生命あるあらゆるものの生命を尊重する態度を育てたい。

### アクティビティーの概要 (1時間扱い)

- 活動1 ロールプレイ1「バッタとカマキリ」を行い、話し合う。  
・バッタとカマキリのそれぞれの命の大切さについて考える。
- 活動2 ロールプレイ2「バッタとカマキリ」を行い、話し合う。  
・バッタとカマキリのそれぞれの命の大切さについて、自分の命に置き換えて考える。
- 活動3 ロールプレイの続きを個人で考え、ワークシートに記入する。
- 活動4 ロールプレイの続きについて、グループでまとめ、発表する。

## アクティビティーの実際

- 準備するもの
  - ・ 振り返り用紙（全員分） ・ 意見を記入する大きめの用紙（グループ数分）
  - ・ ロールプレイの台本（必要枚数）
  - ・ 配役の決定 配役：先生1人 生徒A～C3人

### □ アクティビティーの進め方

#### 活動1 ロールプレイ

- ① 静かに話しかけ、落ち着いた雰囲気をつくり出す。
- ② ロールプレイ1「バッタとカマキリ」を行い、話し合わせる。

<振り返りの留意点と発問例>

- 生徒Aのせつかく捕まえた珍しいカマキリを逃したくない気持ちと生徒Cのバッタの命を尊重する気持ちの両者に共感できるようにする。

発問例      ロールプレイ「バッタとカマキリ」を見て、どう感じましたか。

発問例      あなたは、バッタの命とカマキリの命のどちらが大切だと思いますか。

#### 活動2 ロールプレイ・振り返り

- ① ロールプレイ2「バッタとカマキリ」を行い、話し合わせる。

<振り返りの留意点と発問例>

- 「自分がバッタの立場だったら」という先生の言葉をもとに、バッタとカマキリの命の尊さについて考えるようにする。

発問例      先生役の人が言ったセリフについて、どう考えましたか？

#### 活動3 ロールプレイを考える

- ① ロールプレイ2の続きを個人で考え、ワークシートに記入させる。

<振り返りの留意点と発問例>

- 活動1、活動2の話し合いをもとに、各自の考えをワークシートに記入させる。

発問例      ロールプレイの続きがどうなるか、自分が考えるシナリオをワークシートに書きましょう。

- ② 教師は見回りながら、支援を行う。記入できない生徒には、バッタ

とカマキリそれぞれの命の大切さについて、自分の命を置き換えて考えるように示唆する。

活動4 話し合い

- ① グループで話し合い、個人の意見を大きめの用紙にまとめ、記述させる。

発問例

各自の意見をグループ毎に発表し合ってみましょう。出された意見は用紙にまとめて下さい。その際、同じような意見は、まとめるとわかりやすいです。また、発表するときは、文章でも、会話でもけっこうです。

- ② 教師はグループを回りながら、支援を行う。  
 ③ 本時の活動を通して感じたことをワークシートに記入させる。  
 <ふり返りの留意点と発問例>  
 ○ このアクティビティーについてどう感じたか、生命の尊重について考えさせ、生徒が考えたことを発表できるようにする。

発問例

今日の活動を通して、感じたことを発表して下さい。

- 本時は、バッタとカマキリを例に考えているが、私たちヒトも同様であり、すべての生き物が生きるために他の命をもらっていること、だからこそ、すべての生命を尊重していこうという気持ちに気づくようにする。

発問例

今日の授業を通して、生命ということについてどのように考えましたか？

### アクティビティーを指導するポイント

- ◇ ロールプレイは、集団の実態をふまえて、全体またはグループ毎のどちらでも良い。
- ◇ ロールプレイをふざけ半分やおもしろ半分に終わらないように、教師がねらいをしっかりと持つとともに、生徒にそのことを明確に伝える。
- ◇ ロールプレイ終了後は、話し合いに入る前に、「○○さん、Aの役は終わりました。ありがとう」と、必ず生徒の本名を呼び、役割が終了したことを学級全員に聞こえるように告げるようにする。このことにより、役割と本人とをしっかりと切り離すことが大切である。
- ◇ ロールプレイ2の続きを考える場合には、文章で考えても会話形式で考えてもよい。
- ◇ このアクティビティーは、生命尊重について葛藤場面を設け、考えさせることがねらいなので、意見を一つにまとめることは要求しないが、命の尊厳を伝えていくことがポイントとなる。

## Ⅱ 授業展開例

～中学校1学年「道徳」における授業展開例～

時	学 習 活 動	教師の働きかけ
1	<p>ロールプレイ「バッタとカマキリ」をやりよう！</p>	
	<p>1 ロールプレイのやり方を確認する。</p> <p>2 ロールプレイ1を行い話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロールプレイの感想を話し合う。</li> <li>・バッタ、カマキリのそれぞれの命の尊さについて話し合う。</li> </ul> <p>3 ロールプレイ2を行い、話し合う。</p> <p>4 ロールプレイの続きを各自で考えてワークシートに記入する。</p> <p>5 グループで話し合い、出された意見を黒板に貼り、全体で発表し、共有する。</p> <p>6 今回の授業の感想をプリントに記入し、数名が発表する。</p>	<p>○ロールプレイは、実態に合わせ、全体または、グループに分かれて行ってもよい。</p> <p>○生徒Aのせつかく捕まえた珍しいカマキリを逃したくない気持ちと生徒Cのバッタの命を尊重する気持ちの両者に共感できるようにする。</p> <p>○「自分がバッタの立場だったら」という先生の言葉をもとに、バッタとカマキリの命の尊さについて考えるようにする。</p> <p>○教師はグループを回りながら、支援を行う。</p> <p>○続きは文章で発表させても、会話形式で発表させても良い。</p> <p>○1つのはっきりとした答えを求めることはせず、活発に意見を交換させ、命について考えさせる。</p> <p>○バッタとカマキリを例に考えているが、私たちヒトも同様であり、すべての生き物が、生きるために他の命をもらっていることに気づかせる。</p> <p>○すべての生命を大切にしていこうとする気持ちや命の尊厳の気持ちをもたせたい。</p>

### Ⅲ 資料

#### (1) ロールプレイ台本例

##### < ロールプレイ1 >

★ある学級で、休み時間にとても大きなカマキリを捕まえてきた生徒がいました。

生徒A「先生、カマキリを捕まえたよ。」  
 先生「わー、大きなカマキリだね。こんな大きなカマキリは珍しいね。カマキリは何を食べるのかな？」  
 生徒A「生きた虫しか食べないよ。バッタを食べているのを見たよ。」  
 生徒B「じゃあ、バッタを捕まえてこよう！」  
 生徒C「でも、そんなことしたら食べられちゃうバッタがかわいそう。」  
 生徒A「エサがなければ、カマキリが飢え死にするよ。」

##### < ロールプレイ2 >

先生「もし、あなたがお腹をすかせたライオンのオリに入れられることになったらどうですか？」  
 生徒A「絶対にいや。」  
 先生「今のバッタは、Aさんと同じ気持ちじゃないかな？」  
 生徒B「そしたら、カマキリはエサが食べられないよ。」  
 生徒C「バッタは、カマキリに食べられちゃってもいいの？」  
 先生「みなさんは、どう考えますか。」

#### (2) 参考資料「食物連鎖」<例>



(3) ワークシート例

**「バッタとカマキリ、どちらの命が大切？」**

1 ロールプレイの続きを考えてみよう。

先生 「では、どうしたらよいのかみんなで考えてみましょう。」

( )

( )

( )

( )

2 1で記入した考えをグループで話し合ってみよう。

3 今日の授業をふり返ってみよう。

	はい	だいたい	あまり	いいえ
(1) 命について考えられましたか？	4	3	2	1
(2) グループの話し合いで自分の 意見をはっきり言えましたか？	4	3	2	1
(3) 友だちの意見を真剣に聞けまし たか？	4	3	2	1
(4) 今日の授業の感想を書きましょう。				

\_\_\_組 氏名\_\_\_\_\_

【出典】平成14年度文部科学省委託事業『人権感覚育成プログラム研究開発事業報告書』  
(人権感覚育成プログラム開発委員会)